

手助けが必要な人のために

広島の災害から学ぶ いのちをつなぐ備えと支援

当事者が考える災害シンポジウム

定員 140 名
先着順

日時：平成 27 年 10 月 10 日（土）13：00～16：00

場所：広島市南区地域福祉センター 4 階 大・小会議室

プログラム

1. 基調講演

東北福祉大学 阿部一彦教授
「東日本大震災と当事者団体活動」

2. パネルディスカッション

コーディネーター 阿部一彦

災害が起きた時、難病患者や障害者、高齢者など手助けを必要とする人たちはどうなるのか。災害が起きる前にはどうすればよいのか。「自助・共助・公助」の三方向から考えていくシンポジウムです。東日本大震災で支援活動に関わった阿部一彦先生をお迎えして講演と、昨年起こった広島市土砂災害における難病患者当事者の声をもとに、当事者・支援者・行政それぞれの立場から今後の課題を検討します。

パネリスト

市川 貴子

日本 A L S 協会広島県支部
自宅が被災、障害福祉サービス
事業所 Links 広島管理者

久保 尚史

広島低肺友の会
週末減災ボランティアとして
災害支援に従事、防災士

米田 泰治

広島市危機管理室
災害予防課長

問い合わせ：広島難病団体連絡協議会

〒734-0007 広島県広島市南区皆実町 1 丁目 6-29（広島県健康福祉センター 3 階）

TEL (082) 236-1981 FAX (082) 236-1986 Mail : peer@hironanren.info

後援：広島県、難病対策センター、広島県医師会、広島市医師会、広島県歯科医師会、広島市歯科医師会、広島県看護協会、
広島県社会福祉協議会、広島市社会福祉協議会、広島県社会福祉士会、広島県介護支援専門員協会、中国新聞社、
NHK 広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島